

基本情報						
教科・科目	数学1		・授業で使用するもの 教科書「これからの数学2 数研出版」 「これからの数学3 数研出版」 「体系数学2代数編 数研出版」 問題集「体系問題集数学2代数編 数研出版」 授業プリント iPad			
担当者	吉川、齊藤					
評価割合(試験:試験外)	試験:6 試験外:4					
年間を通じて教科で培う力	鍛錬(知識及び技能)		各単元の必要性和意味を理解することができる 公式を用いて問題を解くことができる			
	理知(思考力・判断力・表現力等)		問題に応じて正しい公式を選択することができる 関数によって表される数量の変化を表、式、グラフなどを用いて表現することができる			
	探究・観智(主体的に学習に取り組む態度)		問題に対して粘り強く取り組むことができる			
学習情報						
月	回	単元(学習)目標	単元目的(到達状態)	学習内容	活動内容	評価方法・ポイント
4	7	一次関数の利用	・特定の事象を1次関数と見なすことができる ・1次関数として捉えられる2つの数量について、変化や対応の特徴を見出し、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現することができる	・1次関数を用いて具体的な事象を捉え考察し表現すること	・講義 ・課題演習 ・グループワーク	・授業内課題への取り組み ・グループでの取り組み ・小テスト
5	9	多項式の計算 因数分解	・展開や2次式の因数分解ができる ・数学的な事柄を、展開や因数分解を利用しながら、文字を含んだ式を用いて一般化したり説明したりすることができる	・単項式と多項式の乗法及び多項式を単項式で割る除法 ・1次式の乗法、式の展開と因数分解	・講義 ・課題演習 ・グループワーク	・授業内課題への取り組み ・グループでの取り組み ・小テスト
6	定期試験① 令和8年 6月3日—6月5日					
6	13	因数分解 式の計算の利用	・展開や2次式の因数分解ができる ・数学的な事柄を、展開や因数分解を利用しながら、文字を含んだ式を用いて一般化したり説明したりすることができる	・単項式と多項式の乗法及び多項式を単項式で割る除法 ・1次式の乗法、式の展開と因数分解 ・展開や因数分解を用いて数量及び数量の関係を捉え説明すること	・講義 ・課題演習 ・グループワーク	・授業内課題への取り組み ・グループでの取り組み ・小テスト
7	6	平方根	・平方根の定義を理解し、自然数の平方根を求めたり、大小を比較することができる ・平方根の意味と必要性を理解し、日常の課題等に平方根を活用したり表したり処理したりすることができる	・数の平方根の必要性和意味 ・平方根を具体的な場面で活用すること	・講義 ・課題演習 ・グループワーク	・授業内課題への取り組み ・グループでの取り組み ・小テスト
7	定期試験② 令和8年 7月15日—7月17日					
8	2	根号を含む式の計算	・根号と四則計算の間の関係について理解し、根号を含む式の計算ができる	・数の平方根を含む式の計算	・講義 ・課題演習 ・グループワーク	・授業内課題への取り組み ・グループでの取り組み ・小テスト
9,10	14	2次方程式の解き方	・2次方程式を、平方根の考えや因数分解を利用して解くことができる ・解の公式を使うことができる	・2次方程式の必要性和意味及び解の意味 ・因数分解したり平方の形に変形したりして解くこと	・講義 ・課題演習 ・グループワーク	・授業内課題への取り組み ・グループでの取り組み ・小テスト
10	定期試験③ 令和8年 10月21日—10月23日					
11	8	2次方程式の解き方 2次方程式の利用	・具体的な場面において2次方程式を用いて問題を解決することができる	・2次方程式を具体的な場面で活用すること	・講義 ・課題演習 ・グループワーク	・授業内課題への取り組み ・グループでの取り組み ・小テスト
12	4	2bxの公式、判別式など	・解の公式を利用して問題を解くことができる	・解の公式を理解し、それを用いて2次方程式を解くこと	・講義 ・課題演習 ・グループワーク	・授業内課題への取り組み ・グループでの取り組み ・小テスト
12	定期試験④ 令和8年 12月9日—12月11日					
1	7	$y=ax^2$ 関数の利用	・関数の定義及び、2乗に比例する関数の意味と性質を理解している ・変化の割合について、式、表、グラフと関連付けながら関数の役割について理解している ・具体的な事象において関数を用いて問題を解決することができる	・事象と関数 $y=ax^2$ ・色々な事象と関数 ・関数 $y=ax^2$ の表、式、グラフとそれらの相互関係 ・関数 $y=ax^2$ を用いて具体的な事象を捉え考察し表現すること	・講義 ・課題演習 ・グループワーク	・授業内課題への取り組み ・グループでの取り組み ・小テスト
2	9	学力推移調査対策 (連立方程式 1次関数)	・様々な数量の関係を等式を用いて表現することができる ・具体的な事象において、連立二元一次方程式を用いて解決することができる	・与えられた問題から方程式をたてる ・連立方程式	・講義 ・課題演習 ・グループワーク	・授業内課題への取り組み ・グループでの取り組み ・小テスト
3	定期試験⑤ 令和9年 3月4日—3月6日					